



# 希望の未来へ！あなたと市政のかけ橋に すずらんジャーナル

船橋市議会議員

はしもと 和子

2018年 第51号

市民相談はお気軽に

公明党控室 047-436-3032

発行 橋本 和子



**文教委員会で昨年11月9日  
札幌市立資生館小学校視察しました。**

学校規模適正化について、学んできました。児童数減少により、4校を統合し、子ども関連複合施設を兼ねた小学校です。

**11月10日秋田市を視察しました。**

学校施設の長寿命化計画について、学びました。

本市も、公共施設等総合管理計画に基づき整備されます。

- ①公共施設等の最適な配置
- ②安全安心な公共施設等の整備



# 発達障害の早期発見について

総務省行政評価局が、まとめた「発達障害者支援に関する行政評価・監視」の結果報告書によると、自閉症、アスペルガー症候群などの発達障害は、生まれつきの特性で、子どもの発達の早い時期から症状が現れ、その発達過程に大きな影響を与えられています。日常生活や他人との関わり、学業などに影響が出て、本人は「生きづらさ」を感じ、親は「育てにくさ」を感じることがあるとされています。他方で、優れた能力が発揮されている場合もあり、周りから見てアンバランスな様子が理解されにくい障害とも言われています。

発達障害に対する適切な支援がなされない場合、その特性により生じる問題に周囲が気付かずに無理強い、叱責などを繰り返すことで失敗やつまずきの経験が積み重なり自尊感情の低下等を招き、更なる適応困難、不登校や引きこもり、反社会的行動等、二次的な問題としての問題行動が生じることがあるとされています。

こうした二次障害を未然に防止する上で、発達障害を早期に発見し、早期に適切な発達支援につなげていくことが特に重要です。



発達障害の中でも、自閉症スペクトラムの特徴として、社会性や対人関係に生きづらさを感じることがあげられます。子どもが他の子に興味を持っているか、他人の動きなど気にしているかなどの「社会性」「社会的能力」が十分に発達しているかどうか、専門家間で一致した見解を得ることは難しいとされています。そのような中、今注目されているのが、『社会性発達評価装置(ゲイズファインダー)』と呼ばれる、視線計測装置です。導入できないか伺いました。

実際に保健師の方にも体験していただきました。



今後、国から発信される先進事例の研究と他市の取り組みなど調査、検討する。

# 第3期がん対策推進基本計画を受けて

本基本計画では、「**がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。**」ことを目標としています。

- ①がん予防
- ②がん医療の充実
- ③がんと共生



②がん医療の充実については、専門的な事なので取り上げませんでした。

①がん予防では、今まで取り上げてきた「がん教育」について伺いました。

「都道府県及び市町村において、教育委員会及び衛生主幹部局が連携して会議体を設置し、医師会や患者団体、学校医やがん医療に携わる医師、がん患者・経験者等の外部講師を活用しながら、がん教育が実施されるよう、国は必要な支援を行う」と明確になりました。

早い話が、「がん教育推進協議会」を実際に行う現場である、船橋市で設置し、がん教育を進めようということです。

教育委員会は健康福祉局との連携を図りながら、外部講師の活用など進めていく。

③がんと共生では、「緩和ケア」について、がん診療連携拠点病院の船橋市立医療センターの状況を伺いました。

身体的苦痛や精神・心理的苦痛、社会的苦痛を丁寧に拾い上げることをスクリーニングと呼び、がんと告知された時から、外来および病棟で行い、患者さんの苦痛を迅速かつ適切に緩和する体制をとっている。



緩和ケアと聞くと、終末期をどのように過ごすのか、そのお手伝いというイメージがありました。そうではなく、がんと診断されたときから、不安やつらさを一人で抱え込まずに、チームで取り組んでもらえるのは、とても心強いものです。

# 今後の図書館のあり方について

昨年11月に開催された「図書館総合展」に行ってきました。  
「岐路に立つ図書館～3つの視点から進化の方向を探る～」と題して、3名の方からの講演を聞いてきました。

3名の講師の方が、それぞれの立場から、今後の図書館のあり方を話してくれました。中でも、公民館や体育館は、サークル内の人結びつきはあるが、他の利用者との結びつきは難しいが、図書館は、勉強や趣味などいろいろな価値観を持った人が集まって来るので、様々な人を結びつけることができる。今までは、静かに本を読んだり、勉強をしたりする場所だった図書館が、司書を活用し、地域のコミュニティの場所となることを強調していたことに、驚きを感じました。

新しい図書館が、各地でできていますが、まさに、地域のコミュニティの場所としていところが多いと感じました。

1歳6か月児健診の時に、各図書館が開催する「セカンドブックえほんの会」の案内と5冊の中から好きな本を1冊もらえる引換券が配布されています。これは、ただ単に本をプレゼントするものではなく、図書館に足を運んでもらい図書館の蔵書に触れる機会やお話会などに参加する機会を作るなどの目的がありますが、本の配布率が低いので、配布方法の工夫を要望しました。



船橋市西図書館では、所蔵資料をインターネットで、いつでもどこでも無料で見られる「船橋市デジタルミュージアム」を公開しました。このミュージアムでは、広重(初代・二代・三代)・豊国・国芳・国貞などで知られる歌川一派の作品や、「富嶽三十六景」で有名な葛飾北斎の作品を含む郷土資料など、1,000点以上を一挙に見ることができます！「目利き番頭 船えもんを探せ」とありましたが、やけに羽織はかまの「船えもん」が、浮世絵に溶け込んでいるのが、かわいく感じます。

はしもと 和子 090-5574-9079

ホームページ [hashimoto-kazuko.jp](http://hashimoto-kazuko.jp)

facebook

twitter

市政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

S.35年 長野県軽井沢町生まれ 小諸商業高等学校卒業

八十二銀行入行 S.57年より船橋市在住 H.27年より保護司

